



AP通信



虫たちがようやく地面から這い出てきたようで公園の前を通ると、ムクドリやツグミがしきりに地面をつついての姿を見かけます。もう春はそこまで来ています。何か新しいことにチャレンジしたい、そんな気分になる季節です。AP通信はそんなワクワクするようなフレッシュな話題をこれからもどんどんと発信してまいりたいと思います。



2014年上半期の活動の中から

代表取締役社長 河村 武敏

1月は「逃げる」、2月は「去る」と昔の人は言いますが、今年もめまぐるしいスピードで早や3月を迎えます。今年は冬も温暖化による異常気象からか、2月の2週連続の大雪(主に東京)により、都市の機能がストップするという事をまたしても経験しました。今年の夏も去年を上回る猛暑の予感。体調管理が難しいですね。

今期は「サービスの見える化」が大きなテーマで、現在ホームページのリニューアルを着々とすすめています。お客様目線でのコンテンツを目指しています。また社員とのコミュニケーション活動も2年目。去年は「BC会」今年は「AC会」！社員をいかにシャッフルし、新しい組み合わせを作るかが課題です。去年はBirthday、今年はAnimal占い！社員の起案で相成りました。今年も1年、楽しく続けていこうと思います。

もう一つ話題を。「公益社団法人日本文書情報マネジメント協会(通称JIIMA)」の関西支部を弊社が兼務しており、私自身は10数年間、理事として参画しています。私の担当委員会で、このたびの公益法人化(昨年10月)を契機に機関誌の「月刊IM」を印刷物から電子ブックに媒体を変える、これにより紙による配布から電子での配信に完全移行、メリットは閲覧者が電子ブック化により10倍～100倍のページビューが可能になり、公益性の役割を大きく担うことができるようになりました。加えて記事からのリンク機能も可能になり、執筆者・広告主へのアクセス増大へつながると確信しています。この機会に是非ID/Passwordを登録いただき、定期的に関覧いただければ幸いです。(詳細は囲み記事で)

三寒四温、春めいてまいりました。消費増税にも負けず、しっかり地に足がついた活動をしてまいります。どうぞご支援よろしくお願い申し上げます。



AC会東京「こじかの会」2014.2.19開催

JIIMA機関誌「月刊IM」電子版に、是非登録・閲覧を！



JIIMAホームページ<<http://www.jiima.or.jp/>>から「月刊IM電子版」にアクセスして頂き、「無料購読」ボタンでメールアドレスとPWを入力してください。折り返しの自動返信メールのアドレスから自由閲覧できます。御社内や関連先にも、「月刊IM電子版」の公開をご案内いただき、積極的な閲覧登録をお願いいたします。

- *「月刊IM電子版」は2014年1月号まで遡及して閲覧できます。またキーワード検索が可能、カラー化、広告協賛企業へのリンク、主要記事からのリンクを設定しています。
- *JIIMAのIMナレッジ委員会では「月刊IM電子版」が、公益法人JIIMAの横断的で新しい情報発信のプラットフォームとなるよう、コンテンツの充実に努めて参ります。

JIIMA機関誌 月刊IM3月号より、電子ブック化実現

JIIMA理事 河村 武敏

文書の電子化の背景と弊社作業のメリットについて

営業本部 統括マネージャー 船戸 誠

営業担当として、お客様の文書の電子化に関わらせていただいています。お客様の業種、部門、背景は様々ですが、電子化をする理由として、共通して下記のようなことが挙げられます。

1. リスク管理：

アナログ媒体は、災害時に持ち出すことが困難な上、原本が逸失してしまう恐れがあるが、電子化し分散管理をすることで、重要な情報資産を守ることができる

2. 業務の効率化：

アナログ媒体は、閲覧時に保管場所に足を運ばなければならず、必要な情報の検索に時間が掛かる。マイクロフィルムの閲覧には、専用の機材が必要となる。それらを電子化し、システムやネットワークを介することで、検索、閲覧が容易となる

3. 省スペース化：

閲覧頻度の低いアナログ媒体を電子化することにより、原本を外部倉庫に移したり、不要文書であれば廃棄することが可能
 プラス、弊社で作業を行うメリットとして、適切な文書情報管理のご提案、万全なセキュリティ体制、有資格者による作業、標準化された電子化フロー、大量処理対応力などがあり、ご採用の決め手となっています。

文書管理でお困りの際は、ぜひご相談いただければと思います。



本社研修「ヒューマンエラーをなくすために」

弊社の古くからの得意先であるO社 T講師を講師にお招きして、ヒューマンエラーについての研修を行いました。その定義は、JIS Z 8115に「意図しない結果を生じる人間の行為」と規定され、防ぐ方法として ①危険予知トレーニング(KYT) ②指差呼称 ③疲労させない勤務時間管理、適度な休息 ④意識覚醒のコーヒー、ガムなど。さらに被害を拡大させないために ①ダブルチェック②安全装置、安全システムの構築が必要であるという事を学びました。ハインリッヒの法則は少し知っていましたが、ジェームズ・リーズン博士の提唱するスイスチーズモデルのお話は興味深かったです。今後の業務に生かすべく日々研鑽しヒューマンエラー撲滅を目指したいと思います。

大阪制作部 担当マネージャー 椎原 栄三郎



APIX社員自己紹介 東京営業部 天野 美奈

営業事務の天野と申します。今年の5月で入社から丸二年となります。

前職ではシステムのデモンストレーションを行うインストラクターとして全国を飛び回っておりましたが、幅広い営業サポートがしたいと考えAPIXへの入社を決めました。現在は、各種ドキュメントの受付でお客様とやり取りさせていただく機会が多く「丁寧で迅速な対応」を常に心がけております。営業事務以外にも、5SやAC会事務局など幅広い業務を行い毎日があっという間に過ぎていきます。

お電話やメールでのコミュニケーションが大部分となりますが、少しでもお役に立てるよう日々精進してまいります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



AC会レポート <こじかの会 in 東京>

河村社長の発案により社員とのコミュニケーション活動の一環として大阪と東京とで毎月動物占いでメンバー分けした社員を招待し、親睦会を開催しております。

今回のAC会は2月19日、もんじゃ焼き店「あゆむ」にて開催されました。トントンカンカンと、材料を混ぜる歯切れのいいヘラの音が響く中、豪快に焼かれるもんじゃのおいしそうなお酒。私はこのフレンチなのにもんじゃ焼き、という斬新なメニューと、築地ならではのウニやエビなどの新鮮な海鮮の他、皆との楽しいひと時を忘れることができません。今回動物占いでグループ分けをし、「こじか」だった社員が集まったのですが、普段集まることのないメンバーでテーブルを囲んで話ができたこともあり、今後のアピックスについて熱く語り合うシーンも。仕事では中々味わえない盛り上がりで、今回も大成功で終わることができたのではと思っています。

リソースマネジメント部 原澤 尚見



もんじゃ焼き(あゆむ)

◎編集後記

今年も早いもので、あっという間に3月も中旬を迎えました。いまだ気温は低く、コートが手放せない日々が続いておりますが、一方で春の気配を感じることもできています。桜の開花はもう目の前！同時に襲ってくる花粉に少し怯えつつも..そんな春の訪れに胸躍らせる筆者であります。さて、第7号を迎えたこの「AP通信」ですが、今号では「月刊IM」の電子版や「AC会」など新たな活動のご紹介もさせていただきました。4月のようなフレッシュな月を迎えるにあたり、ピッタリな話題だったかと思えます。嘘のように降り積もった雪はもう溶けて無くなりました。足元が良くなったところで、社員一同より一層気を引き締め、お客様への満足を提供していけるよう努めていきたいと思えます。 事業企画室リーダー 新川 由樹